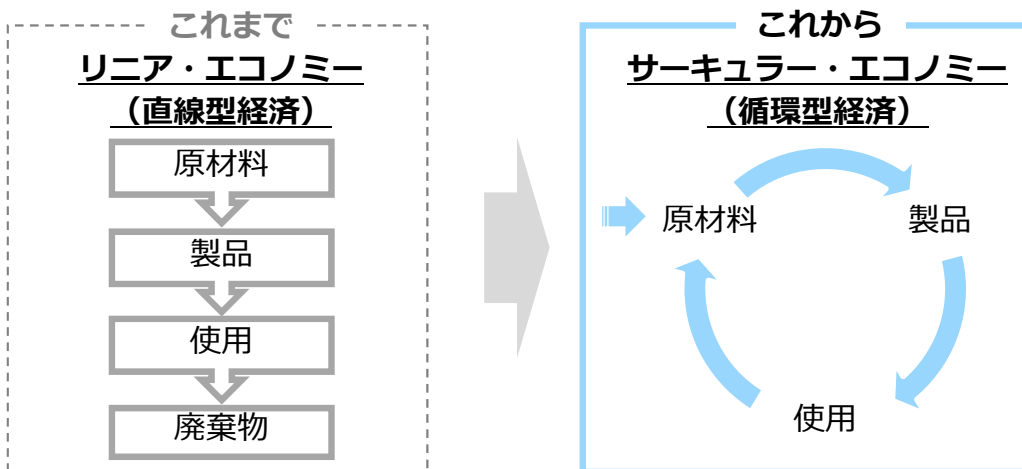


- 経済産業省は、2021年2月に「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」を設置。7月に議論・検討をとりまとめ、報告書を公表したところ。
- 循環型経済への移行が必要であり、環境に配慮した取組が重要となる。

現状

- 製品企画から消費活動後まで、多くの取組が必要だが、現在、統一的な概念や評価指標はない。
- 資源循環を進めるためには、回収システムの構築が必要。衣料品の回収に関しては自治体によって対応が異なるとの指摘がある。
- 環境に配慮した商品が増加するために、より一層、消費者の参画が必要となる。



今後の取組

①環境配慮設計ガイドラインの策定

- 副産物削減、省エネルギー・省資源、製品の長寿命化、消費活動後の資源循環といった観点を入れた製品設計を進めるためのガイドラインの策定。

②回収システムの構築

- 店頭回収などを通じてリユース・リサイクルが促進されるよう、回収した古繊維の取扱いに関する環境整備の実施（環境省と連携）。

③消費者の意識改革

- インフルエンサーなどの協力も得た消費者への情報発信・周知活動の展開（消費者庁、環境省と連携）。